



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 渡部 裕幸

2015 春闘の山場に突入

2015春季生活闘争は、2月中に要求書の提出を終えて、いよいよ交渉の山場をむかえている。民間組合は、東日本大震災が発生した3月11日に山場を設けることをきけて、例年より約1週間遅く、3月18日に大手組合の回答集中日とした。私たちは春闘を年間の賃金闘争のスタートと位置づけて、春の段階から要求を掲げ、秋の賃金確定期に成果を勝ち取るというサイクルを構築し、民間組合のたたかいに連帯していく必要がある。

民間組合の動向は、昨年の到達点を踏まえて、引き続き2%以上の月例賃金の引き上げを要求として掲げている。物価変動の影響を差し引いた実質賃金が低下していることに着目して、6.00%以上の賃上げを求め

安倍内閣の閣僚をめぐる「政治とカネ」の問題が広がっている。西川農水相辞任は、第2次安倍内閣以降での、小淵前経済産業相、松葉前法相に続く3人目の閣僚辞任だ。それに続き、望月環境相、川上法相が補助金交付企業から献金

を受けていたことも発覚した。野党が下村文部科学相の問題にも追及を強める中、安倍政権は閣僚の「辞任ドミノ」を避けようと、防衛に必死だ。安倍首相は「政治とカネ」に関する認識の甘さがある。任命責任をしっかりと追及しよう。

朝風

方、昨年の全国消費者物価上昇率は、消費増税の影響もあり、賃上げ率を上回る3.2%となる見込みという報道もある。個人消費の回復には、企業数で9割、従業員数で7割を超える中小企業の賃上げが欠かすことができない。民間大手組合の成果をどこまで中小企業

各地域に見られる。自治労としては導入に反対する姿勢を堅持しながら、仮に導入された場合であっても、平均2%の賃下げを取り返し、勤務条件の改善につながる交渉を全単組で進めている。

2月18日には人事院総裁、同日公務員制度改革大臣交渉を行い、連合春闘と連動したたたかいを進めている。北海道段階では3月2日に人事院北海道事務局への春季要求書の提出を行い、12日には道

本部として道市町村課との交渉を予定。中央の公務員連絡会では5日と12日に交渉が予定され、12日には中央行動を展開する。引き続き3月24日に予定される最終回答日をにらみ、各種諸行動を展開していく。



人事院北海道事務局へ要求書提出する(写真左) 高倉公務労協議長=3月2日



参加者に決意を表明した=札幌市、パークホテル

いま変えなければ 北海道の将来はない

佐藤のりゆきを囲む会
2月26日、札幌市・パークホテルで、北海道知事候補予定者の「佐藤のりゆきを囲む会」が開かれた。佐藤さんは、「いまの北海道は疲弊しきつてい

は日本の食糧基地であることを踏まえ、食糧自給率を国の安全保障の柱に据えて、北海道の一次産業をその中心にすべきだ。福島のような原発事故があった場合には、北海道は崩壊する。日本の食もむかうべきだと述べた。

「戦争をさせない」北海道委員会
「戦争をさせない」全国署名実施中!
◆目標 組合員×5筆
◆取り組み期限 2015年4月8日(水)まで

最後に、「このままで北海道の明るい将来はない。子どもたち、若い人たちの明るい将来のために頑張りたい。やる気や情熱を持った知事と一緒に政策をつくること」が本場の地方自治だ。いま変えなければ、北海道の将来はなくなる。北海道に骨を埋める覚悟で、最後までたたかう」と決意を述べ、支援を訴えた。

本号の紙面

- 2・3 「佐藤のりゆき」さんと山上委員長との対談・道議会議員候補予定者紹介
- 4 公務労協春闘学習会・青年部部長養成講座・職場だより・シリーズ「社会保障制度改革の行方」おーさかさんの国会だより・忙中余話

JICHIRO スケジュール

3月	
12日(木)	公務員連絡会2015春季生活闘争 3.12中央行動(東京)
18日(水)	第26回労文協リレー講座⑥(札幌市)
24日(火)	第14回執行委員会(札幌市)

道本部ホームページ
自治労北海道 ユーザー名: minnade
組合員専用ページは パスワード: danketsu2013

第9回 連合・ILEC 幸せさがし文化展

どなたでも応募できます

絵画 | 写真 | 書道 | 俳句 | 川柳 | 作品募集

募集期間(俳句・川柳) | 2015年2月1日(日) - 5月15日(金)

募集期間(絵画・写真・書道) | 2015年4月1日(水) - 5月15日(金)

◆作品展示 2015年10月6日(火) - 7日(水) 東京国際フォーラムホールA 1Fロビー(有楽町)

◆絵画・写真 連合大賞・ILEC大賞各1名【賞状と賞金10万円】、シニア特別賞各1名【賞状と賞金3万円】、ジュニア特別賞各1名【賞状と賞金1万円】、その他各賞

◆俳句・川柳 連合大賞・ILEC大賞各1名【賞状と賞金5万円】、シニア特別賞各1名【賞状と賞金3万円】、ジュニア特別賞各1名【賞状と賞金1万円】、その他各賞

◆推進団体 主催: 日本労働組合総連合会(連合)、(公社)教育文化協会 後援: 退職者連合協賛: 中央労協協、(一社)労金協会、全労済、(公財)総評会館、(株)友愛会館、(一財)日本労働会館 協力: NHK学園

お問い合わせ (公社)教育文化協会(略称: ILEC) 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F TEL: 03-5295-5421 FAX: 03-5295-5422 URL: http://www.rengo-ilec.or.jp

募集要項の詳細は、Webサイトへ…

幸せさがし文化展 検索

どさんこ知事と北海道の将来のため

北海道民の命をまもる

佐藤のりゆきさんが語る「平和・原発・TPP」

2月24日、北海道知事候補予定者の「佐藤のりゆき」さんが道本部を訪れた。佐藤のりゆきさんと山上道本部執行委員長と対談を行った。対談では「平和・憲法・原発問題・TPP問題」について自治労としての考えを伝えたうえで、佐藤さん自身も「どさんこ」北海道の将来のため、「道政のあるべき姿を力強く率直に語ってくれた。



佐藤のりゆきさんプロフィール

1949年11月18日、旭川市生まれの『どさんこ』。生後まもなく札幌市へ。札幌市立白楊小学校、北陽中学校、札幌北高校、北海学園大学法学部を卒業。

1972年4月、北海道放送株式会社（HBC）アナウンス部へ入社。22年勤務する。

1994年、北海道初のフリーアナウンサーに転身。その後、テレビ・ラジオのキャスターとして20年活動。

約18年間続けた『のりゆきのトークD E北海道』を終え、北海道研究に入り、北海道独立研究会を立ち上げる。

佐藤のりゆきさんHP
<http://satonoriyuki.jp/>

■憲法・平和問題

平和な日本を引き継ぎたい

山上 最近特定秘密保護法の制定や、集団的自衛権の閣議決定による行使容認など、非常に危機感を持っています。自治労は平和憲法を擁護・守る立場であり、特に前文・9条は何としても守らなければならないと考えています。基本的な憲法三原則は遵守すべき

道民全体で脱原発の実現を

山上 福島、チェルノブイリ、スリーマイルの事故がありました。大きな事故を重ねることに、原発は、やはり人類的に見ても難しいと考えています。私たちが福島の事故を契機に脱原発にむかうべきと強く思っています。特に、泊原発の再稼働問題もどうしていくかは北海道にとって大きな問題です。また、脱原発にむかっただけの地方振興策をどうするかというのも重要な課題です。例

えは、周辺自治体への対策をどうするかを考える。単に脱原発だけではなく、地方に住む人々、自治のことも真剣に考えなければならなりません。それを踏まえて、原発についての考えを聞かせてください。

佐藤 私原発に対する考えは、脱原発です。福島島の現状を見てもインフラ整備、住宅もまともにない状況です。また、因果関係ははっきりしていませんが、事故による病気・後遺症があるとしたら、日本では絶対に起こしてほしくない事故だと思っています。北海道の泊では、あのような事故を絶対に起こしてほしくないと思います。



知事候補予定者として推薦を決めた「佐藤のりゆき」さん。山上委員長と対談した



キャスター時代の経験を交え、熱く語る「佐藤のりゆき」さん

のりゆきさんが考える北海道の姿！

■これからの北海道について

権限と財源で市町村と地域をつくる

山上 いまの北海道でこれからの北海道の姿について、佐藤さんの率直な考えを聞かせたい。

◆「主語は『北海道』」
佐藤 北海道と国の関係を考えて、いままでほとんど国の出先機関のような北海道であったと思います。常にリリーターの言う言葉の主語は「国」が「国」は「国の方針がどう」でしたが、私は主語は「北海道」でなければならないと思っています。

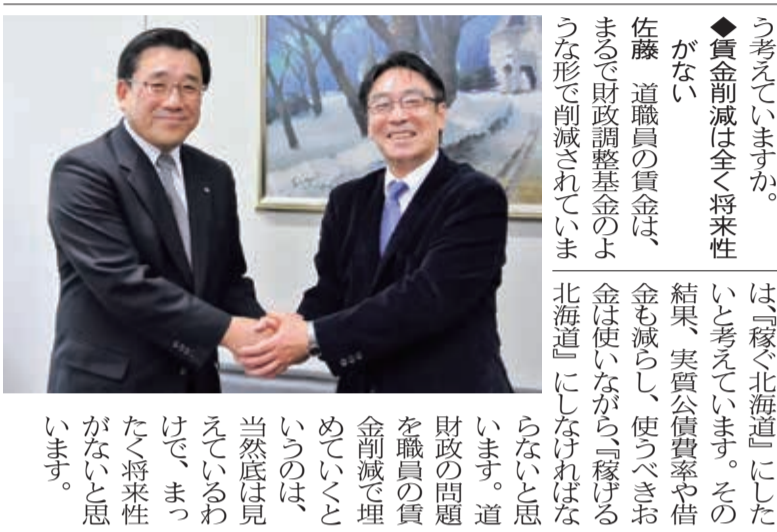
◆若者が働ける場をつくりたい
人口減少問題に関して、北海道は非常に特徴があり、20代・30代の若者の流出が原因です。それは、就職のために9割が本州に行かざるを得ないという状況があるからだと思います。これは10年以上前から言われてきたこと

す。私は、この問題を二次産業の縮みで考えている。例えば、付加価値を高めるために工場、研究所、会社をつくり、若者が北海道で働ける場をつくりたいと思います。

◆市町村と綿密に連携する北海道
このまいくと、30年後には、140万人の人口が減少します。そのなかで、札幌以外の市町村は生き残るのかという問題も、大きなテーマになっています。今の国の政策で「地方創生が中央集権」ということになりかねない、という危惧を持っています。

◆職員のみならず新しい方向づくりを
同じリリーターが12年間続き、さらに4年で16年間というのは、ちょっと考えられません。これほど長くやれば、馴れ合いや淀みなど、道庁の中の人にも影響が及んでくるのではないのでしょうか。

◆賃金削減のみならず、結果、実質公債費率や借金も減らし、使うべきお金を使いながら「稼げる」北海道にしなければならぬと思います。



◆「稼げる北海道」にする
山上 現在、道職員は16年間連続賃金削減、人員削減などで疲弊しています。佐藤のりゆきさんが知事になった場合、これらの課題を含めてどう考えていますか。

◆賃金削減は全く将来性がない
佐藤 道職員の賃金は、まるで財政調整基金のような形で削減されています。結果、実質公債費率や借金も減らし、使うべきお金を使いながら「稼げる」北海道にしなければならぬと思います。

変えよう北海道！ 組織内道議とともに

道本部組織内道議の立候補予定者

佐藤のりゆき知事とともに 信頼と責任の道政改革！

告示 3月26日 投票日 4月12日

札幌市中央区 新人 藤川 まさし (58歳)	札幌市東区 現5期 星野 高志 (63歳)	札幌市白石区 現2期 広田 まゆみ (51歳)	帯広市 元5期 みつ 丈夫 (69歳)
北広島市 新人 小岩 ひとし (55歳)	函館市 現3期 高橋 とおる (61歳)	旭川市 現4期 木村 峰行 (65歳)	
苫小牧市 現1期 沖田 清志 (51歳)	室蘭市 現5期 たきぐち 信喜 (68歳)	上川総合振興局 現2期 北口 ゆうこう (58歳)	
空知総合振興局 現2期 稲村 ひさお (59歳)	渡島総合振興局 現1期 ささだ 浩 (54歳)	オホーツク総合振興局 (西地域) 現4期 日下 太郎 (68歳)	

■TPP問題

国民みんなで反対するテーマ

山上 TPP交渉は佳境に入っていますが、道内経済に与える影響は大きく、北海道は壊滅的な打撃を被るという危惧を持っています。TPP問題について考えてを聞かせてください。

佐藤 国で出された農協改革は、どう考えても本筋に良い改革になるとは思えません。TPPに反対する農協は潰す」とい

海上 TPP交渉は佳境に入っていますが、道内経済に与える影響は大きく、北海道は壊滅的な打撃を被るという危惧を持っています。TPP問題について考えてを聞かせてください。

佐藤 国で出された農協改革は、どう考えても本筋に良い改革になるとは思えません。TPPに反対する農協は潰す」とい

道民の命や健康問題も大事なことです。もう一つは、北海道は日本の食糧基地であるということ。その中心にするべきだと

海上 TPP交渉は佳境に入っていますが、道内経済に与える影響は大きく、北海道は壊滅的な打撃を被るという危惧を持っています。TPP問題について考えてを聞かせてください。

佐藤 国で出された農協改革は、どう考えても本筋に良い改革になるとは思えません。TPPに反対する農協は潰す」とい

北海道公務労協春闘学習会

春闘・統一自治体選挙たたかい抜く

連合北海道公務労協は3月2日、「北海道公務労協2015春闘学習会」を開き、10産別130人が参加した。

りゆき北海道知事候補予定者が登壇し「真の地方自治を進め、国の出先はここでやめたい。リーダーの主語は『国』ではなく、『北海道は、北海道が参加した。』



連合の政策制度実現の取り組みを確認した=3月2日、自治労会館

が、北海道で暮らすわれわれは』でなくてはならない。北海道を豊かにし、子どもたちがワクワクして暮らせる大地に変えなければならぬ。一人では変えられない。心ひとつにしてスクラムを組めば北海道は変わる」と支援と協力を要請した。

主催者を代表し、高倉議長(全開発委員長)は、「月例給にこだわったたたかいは展開されている。民間春闘を支援し人事院勧告へ結び付ける。地公も国公も人員が減少し、仕事をやりたくてもやれない状況が生まれてきている。春闘交渉で改善を促し、よりよい公共サービスの実現にむけて取り組みを進めることが重要」と述べ、議院内で発言できる議員を送り出すことは、国会・議会で賃金・労働条件が決定される私たちの任務。春闘とあわせて統一選挙もたたかい抜くことを意思統一したい」とあいさつした。

続いて、川島連合本部総合政策局長が「連合の政策・制度実現の取り組みにおける当面の主要課題」と題し講演した。川島さんは、「企業の7割を占める中小企業、全労働者の約4割の非正規労働者の底上げを果たさなければ経済の好循環は実現できない。①賃上げ②時短③政策・制度要求が今春闘の三本柱となる。政策・制度要求と賃上げは運動の両輪として進めて

きた」と述べた。労働者保護ルールの堅持や臨時・非常勤職員の処遇改善など春闘で掲げている要求事項と各事項に対する政府の動向と通常国会における重点法案の審議状況について報告・説明し、「STOP THH格差社会」暮らしの底上げ実現」キャンペーンをはじめる。労働者視点で職場を点検



職場での運動実践について学んだ=2月28日

道本部青年部は2月28日、3月1日、「労働者としてのモノの見方や考え方」を養い、「職場での運動実践」につなげる」をテーマに「2015自治労北海道本部青年部座長養成講座」を開き、13地本から50単組・総支部78人(うち女性13人)が参加した。

はじめに、斉藤青年部長があいさつをし、その後、JP労組オホーツク

おーさかさんの
逢坂誠二の
国会だより³⁴

安倍政権がすすめる地方創生には、の策定を求めているが、それは性急だろう。自治体には、国が求める数々の似たような計画が山積している。反省がないことだ。消滅自治体など、まずそれらを整理する作業が必要だ。地域を元気にする本格的な計画づくりにするためには、時間を要する。来年度中に、各自自治体に総合戦略を進めるならば地方創生はあり得ない。(3月4日、松江にて)

地方政策検証しなければ地方創生はない

が事実ならば、これまでの地方政策が失敗したということなのだろう。今までの政策の検証をしっかりと行うことが肝心だ。

来年度中に、各自自治体に総合戦略

情報を共有しよう



職場だより

【宗谷地方本部発】全道的な荒天にみまわれ道北地方でも暴風雪警報が発表されるなか、1月31日、稚内市で宗谷地方本部春闘討論集いが開催され6単組総支部36人(うち女性3人)が参加した。

宗谷では給与の総合的見直しに対する取り組みが、若干の積み残しがあるものの、全単組が確定期で妥結していることから、春闘期の統一課題を人事評価制度に重点を絞る。学習会では道本部から榎部賞金労働部長を招き「制度の導入と自治労の対応」と題し制度説明や今後のうごき、また「賃金に反映させようとする評価制度は成功しない。能力育成やコミュニケーション管理に活用していくべき」との丁寧な説明に参加者は真剣に耳を傾けた。「制度開始までわずか1年となり当局や単組もどのような方向で進んでいくのか少し見えてきた」「地本に結果する単組が足並みを

そろえて情報を共有できればと参加した仲間からの声に地本としての取り組みの足がかりが見えた。(宗谷地方本部書記長・櫻庭信)

人事評価制度について学習した=1月31日、稚内市

シリーズ「社会保障制度改革の行方」①

地域を変えることから始めよう



2015年度の社会保障関係費予算案は、少子高齢化により社会保障費がアップしている中、一般歳出(政策経費)の55%を占めるという高い水準となっています。

今回の政府予算を全体としてみると、消費増税の効果を薄め、個人負担を高め、大企業、富裕層優遇の予算編成となっており、格差や貧困、不平等がますます広がっていくことが予想されます。

こうした方向性は、現政権が強く押し進められています。

社会保障給付の財源問題は、消費税を含む所得税、資産課税、相続税、法人税などについて、公平・公正な観点からの再配分機能を強化する全般的な税制改革が不可欠です。

そのためにも今回の統一自治体選挙において、地域から私たちの声を届けていくことが必要です。全ての推薦議員の当選が、地域を変え、そして国政を変えていく力になります。誰もが安心して生活出来る、公平・公正な社会の実現を一緒に取り組みましょう。

忙中余話

今年の網走地方は低気圧の影響で大雪に見舞われ、学校が休校になるなど市民生活に大きな影響を与える。今年春闘と統一自治体選挙闘争の真只中。春闘・選挙にしても、少しでも課題解決と要求実現に繋げていく必要がある。そう考えれば必然と力を入れざるを得ない。本当の意味での春はまずだ先。激務激闘中の仲間となる。まさに「爆弾低気圧」のような網走市現